

第3回刈羽村景気ウォッチャー調査 概況

1. 調査日 令和4年10月26日
2. 調査対象
対象事業所数 153事業所 (商工会法定会員)
回答事業所 100事業所 (回答率: 65.4%)
3. 調査対象時点 令和4年4月～令和4年9月期を対象とした。
4. 調査方法 刈羽村と共同で実施し、商工会で調査票を対象事業所に郵送し、令和4年11月15日までにFAX等により回答いただいた。調査集計は刈羽村産業政策課で行った。

5. 概要

調査期間内において、新型コロナウイルス感染症拡大が落ち着きを見せていたこともあり、売上高は改善傾向です。特に、宿泊飲食業では改善傾向が強まりましたが、生活関連サービス業では依然として厳しい傾向が続いています。一方、営業利益については業種に関わらず悪化傾向となりました。経営課題、悩み事の調査項目では、「原材料、資材の高騰」と回答する事業者が最も多く、価格の高騰等が影響し、利益減少を招いているものと推測します。この傾向は業種を問わず強まっており、今後注視すべき課題であると考えます。

(1) 売上高

直近6ヶ月の売上合計額については、回答事業所の約50.0%が前年に比べて「増加した」と回答しており、前回調査よりも改善傾向となりました。一方、今後6ヶ月の売上見通しについては約55.0%が減少すると回答しており、依然として、生活関連サービス、卸小売業、建設業で厳しい状況となっています。

(2) 営業利益

営業利益は、直近6ヶ月との比較については回答事業所の約52.0%が「減少した」と回答しており、大幅に増えています。今後の見通しについても同様で、前回の調査と比べ減少する傾向が強まっています。

(3) 設備投資

設備投資については、実施していない事業者が 71.0%と半数以上を占めており、営業利益の落ち込みが影響していると考えられます。実施した事業者についても金額は 500 万円以下が 75.9%と設備投資に関しては消極的な状況が続いています。

(4) 経営課題、悩み事

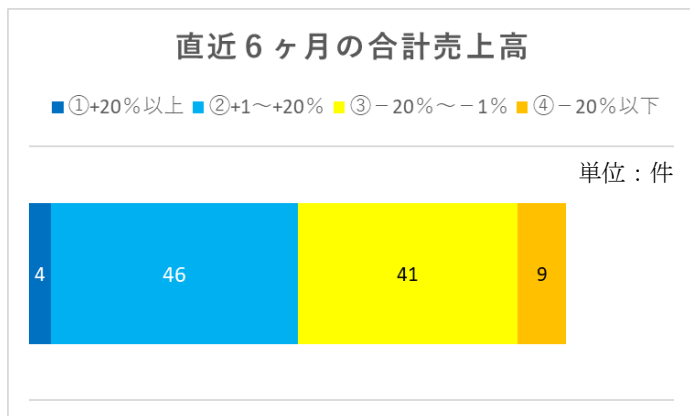
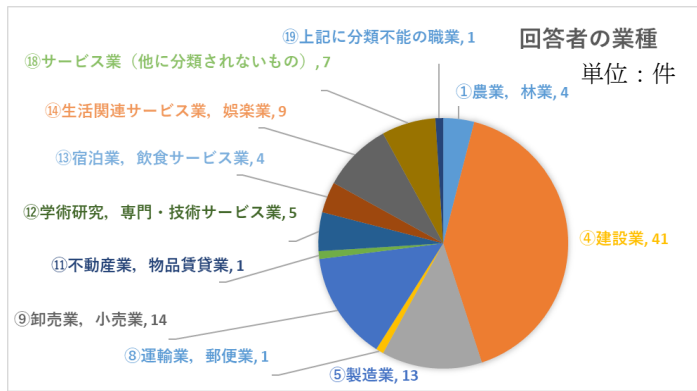
前回調査と同様の傾向で、経営上課題・悩み事の上位 3 項目には「売上高、営業利益の伸び悩み」「原材料、資材、光熱費の高騰」「人手不足」が多く示されています。特に、「原材料、資材、光熱費の高騰」については約 24.8%と回答数が急増し最多となっており、業種を問わず影響が広がっています。また、「人手不足」も回答数が増加しています。

一方、「原材料、資材、光熱費の高騰」と回答した事業所の内、どの位の上昇感が見受けられるかお聞きしたところ、原材料、光熱費共に高騰率は「+100%~+200%」が全体の約 90%以上を占めています。中には「+150%~+200%」との回答が 2 割程度あり、今後注視が必要と考えます。

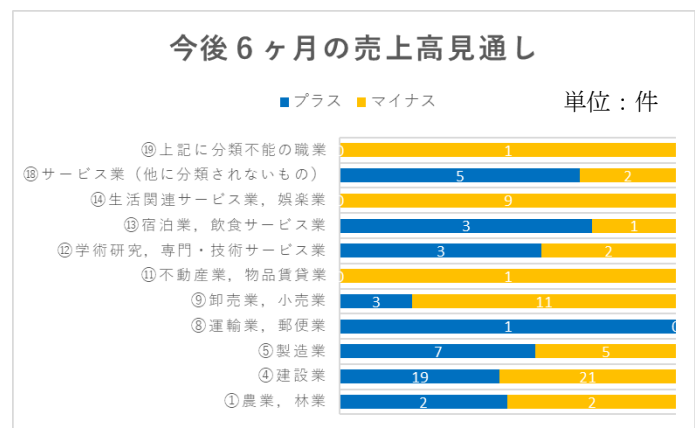
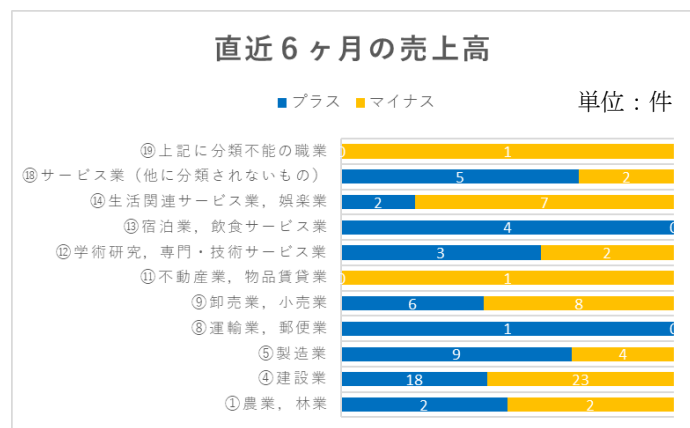
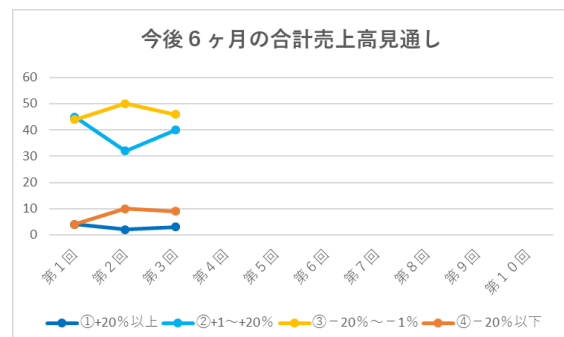
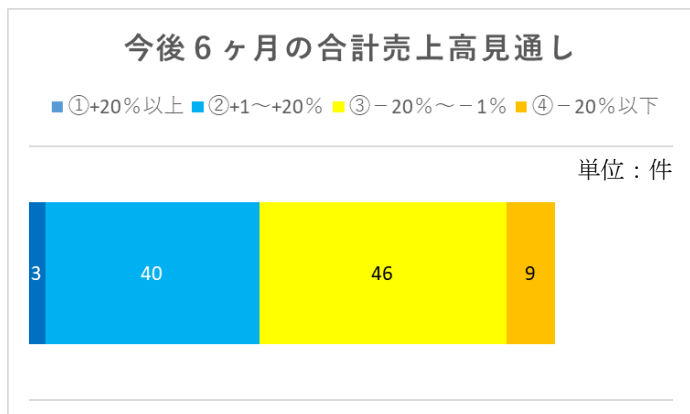
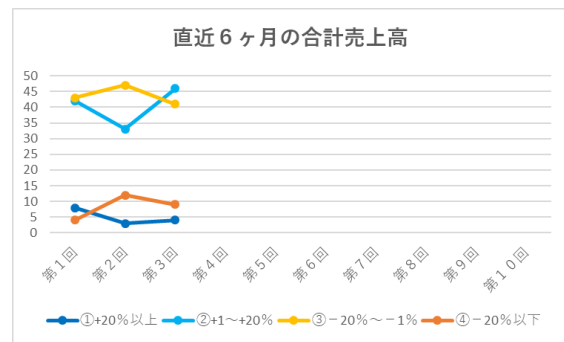
(5) 新型コロナウイルス感染症の影響、その他

直近 6 ヶ月との比較については、「影響を受けている」「どちらかと言えば影響を受けている」と回答している事業者が約 61.0%と半数以上を占めていますが、前回調査に比べ減少傾向にあります。また、今後の見通しについても同様の傾向が見受けられ、明るい見通しが増加し、新型コロナウイルス感染症の拡大は落ち着きを見せてきていると考えられます。

11月24日時点の回答率 65.4% (100件/153件)



売上高は直近で同数になる。見通しではマイナスが上回る。前回より改善傾向。宿泊、飲食サービスは改善傾向。生活関連サービスは依然として厳しい。



直近6カ月の営業利益

■①かなり増加する ■②増加する ■③変わらない
■④減少する ■⑤かなり減少する

単位：件



営業利益は直近で前回より「減少する」が大幅に増加。悪化傾向が見られる。見通しでは「増加する」「減少する」共に増加し2極化。業種による傾向はなし。

今後6カ月の営業利益見通し

■①かなり増加する ■②増加する ■③変わらない
■④減少する ■⑤かなり減少する

単位：件



直近6ヶ月の営業利益

■プラス ■変化なし ■マイナス

単位：件



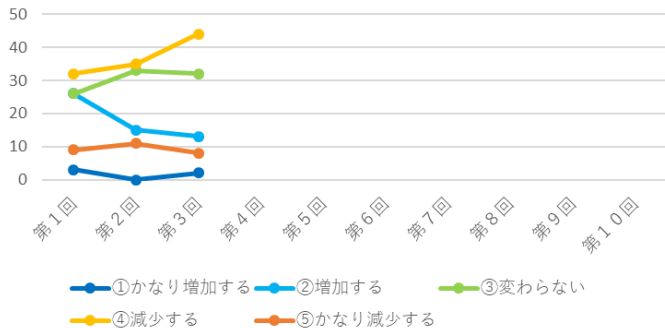
今後6ヶ月の営業利益見通し

■プラス ■変化なし ■マイナス

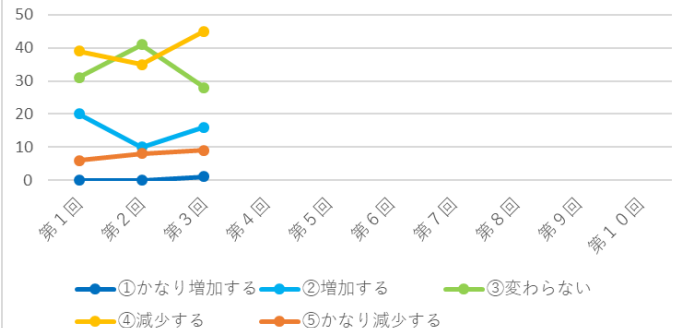
単位：件



直近6ヶ月の営業利益



今後6ヶ月の営業利益見通し



直近6カ月の設備投資

- ①実施無
- ②～100万円
- ③100～500万円
- ④500～1,000万円
- ⑤1,000万円以上

単位：件



設備投資は実施無しが大幅に増加。≤100 万円の設備投資が大きく減少した。営業利益の落ち込みが影響か。

生活関連サービス、宿泊・飲食、卸売・小売、製造、建設で弱い傾向も前回と変わらず。幅広い業種で弱い動き。

今後6カ月の設備投資見通し

- ①実施無
- ②～100万円
- ③100～500万円
- ④500～1,000万円
- ⑤1,000万円以上

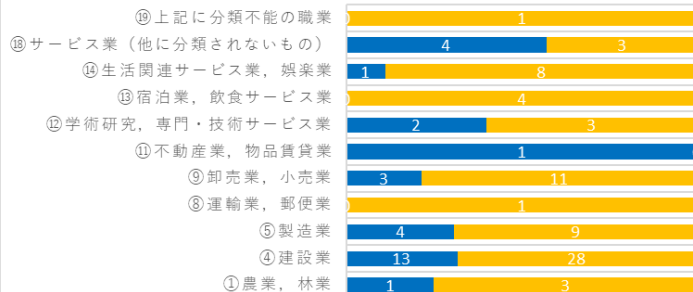
単位：件



直近6ヶ月の設備投資

- あり
- なし

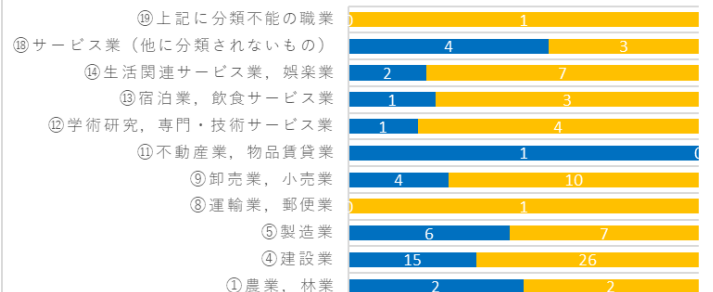
単位：件



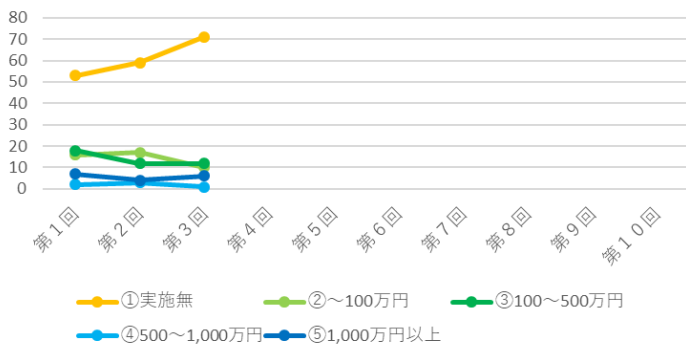
今後6ヶ月の設備投資見通し

- あり
- なし

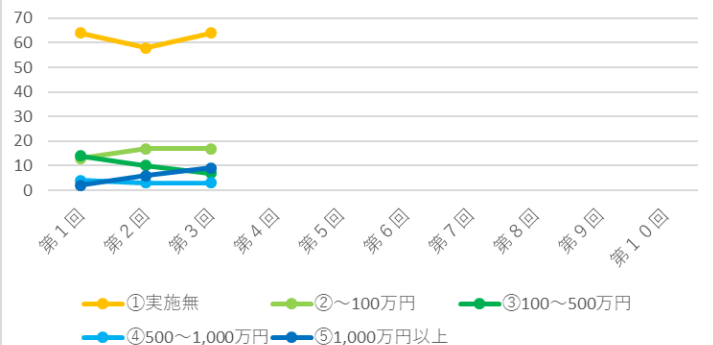
単位：件



直近6ヶ月の設備投資



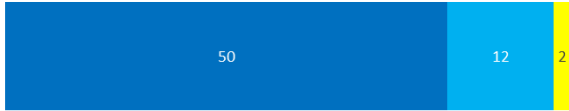
今後6ヶ月の設備投資見通し



原材料（資材）の高騰率

■ ① +100%～+150% ■ ② +150%～+200% ■ ③ +200%以上

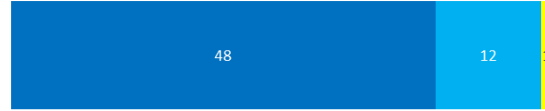
単位：件



光熱費の高騰率

■ ① +100%～+150% ■ ② +150%～+200% ■ ③ +200%以上

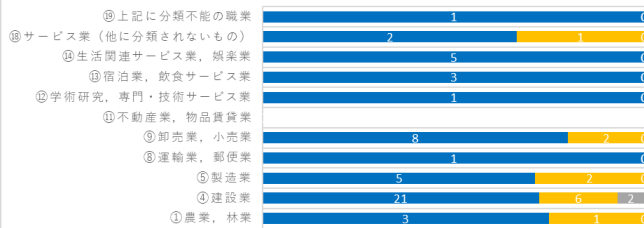
単位：件



原材料（資材）、光熱費共に高騰率は+100%～+150%が最多。
+150%～+200%も全体の2割程度おり、今後の動向に注意が必要。
原材料（資材）、光熱費共に業種を問わず影響が広がる。

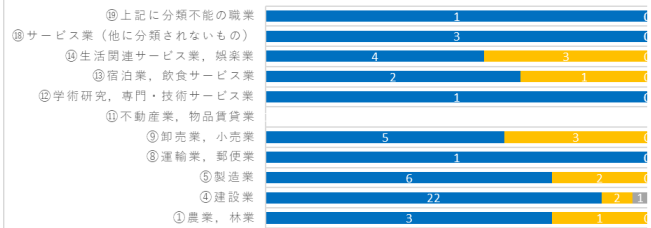
原材料（資材）の高騰率

■ +100%～+150% ■ +150%～+200% ■ +200%以上 単位：件



光熱費の高騰率

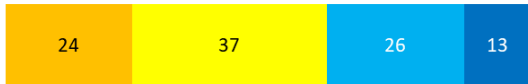
■ +100%～+150% ■ +150%～+200% ■ +200%以上 単位：件



現在の新型コロナの影響

- ①影響を受けている
- ②どちらかといえば影響を受けている
- ③どちらかといえば影響を受けていない
- ④影響を受けていない

単位：件

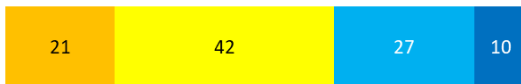


「影響を受けている」「どちらかといえば影響を受けている」が減少し、「影響を受けていない」「どちらかといえば影響を受けていない」が増加した。コロナの影響は後退しつつあるか。

今後の新型コロナの影響見通し

- ①影響を受けている
- ②どちらかといえば影響を受けている
- ③どちらかといえば影響を受けていない
- ④影響を受けていない

単位：件

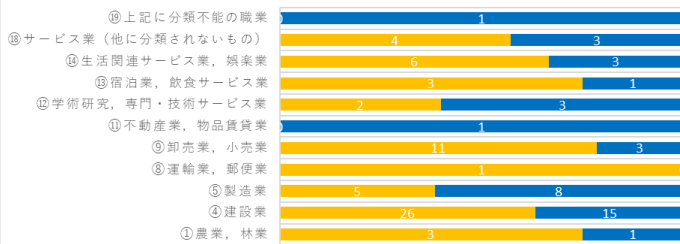


製造でコロナの影響が大幅に後退。見通しでは、前回まで影響の大きかった卸売・小売でも「影響なし」が現れる。建設でも「影響なし」の見通しが増加。幅広い業種で明るい見通し。

現在の新型コロナの影響

■ あり ■ なし

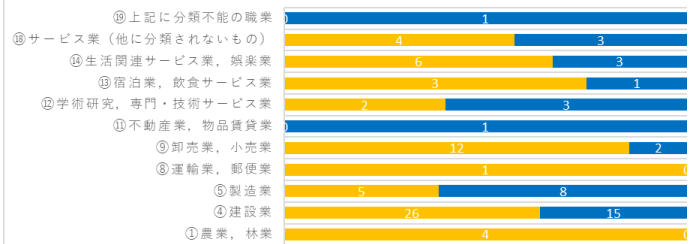
単位：件



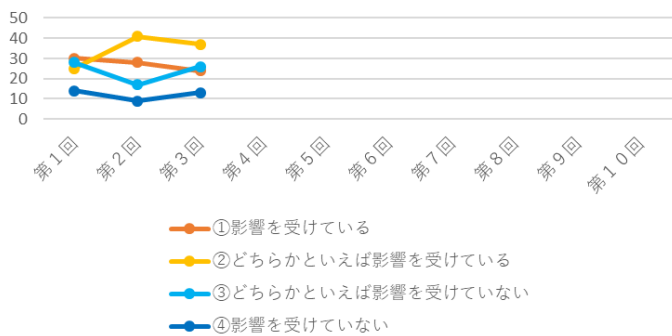
今後の新型コロナの影響

■ あり ■ なし

単位：件



現在のコロナの影響



今後のコロナの影響見通し

